

baudroie inc.

会社概要と成長戦略

株式会社ボードルア
証券コード：4413



会社概要

商号	株式会社ボーダルア		設立	2007年4月
取締役	代表取締役社長	富永 重寛	決算期	2月
	代表取締役	藤井 和也		
	取締役	程島 義明	社員数	752名
	社外取締役	安藤 温		(正社員/契約社員含)*2022年5月現在
	常勤監査役	竹内 靖浩	業務内容	ITインフラストラクチャ事業
	常勤監査役	岡本 俊夫	主要取引先	ソフトバンク株式会社
	監査役	尾中 直也		KDDI株式会社
	監査役	西川 研一		NTTコミュニケーションズ株式会社
本社	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー37階			株式会社インターネットイニシアティブ
第二オフィス	東京都港区六本木7-3-12 六本木インターナショナルビル7階			株式会社野村総合研究所
第三オフィス	東京都港区六本木3-10-9 桜川誠志堂ビル4階、6階		有資格者	住信SBIネット銀行株式会社
				CCNA: 694名
				CCNP: 463名
				*2022年5月現在

経営理念

ネットワークインフラ技術分野におけるフロントランナーとして、
弛まぬ技術革新を推し進め、急速に進化している情報化社会の発展に貢献する。

ミッション

新たなITサービスの誕生と成長をネットワークインフラの側面から支え、
社会の発展へ寄与する。

社名の由来

ボードルアは、フランス語で魚「アンコウ」。
「提灯アンコウ」は深海に棲み発光することから、ITを底から支えるインフラストラクチャ分野のガイド役になぞらえて、この名前を会社名にいたしました。



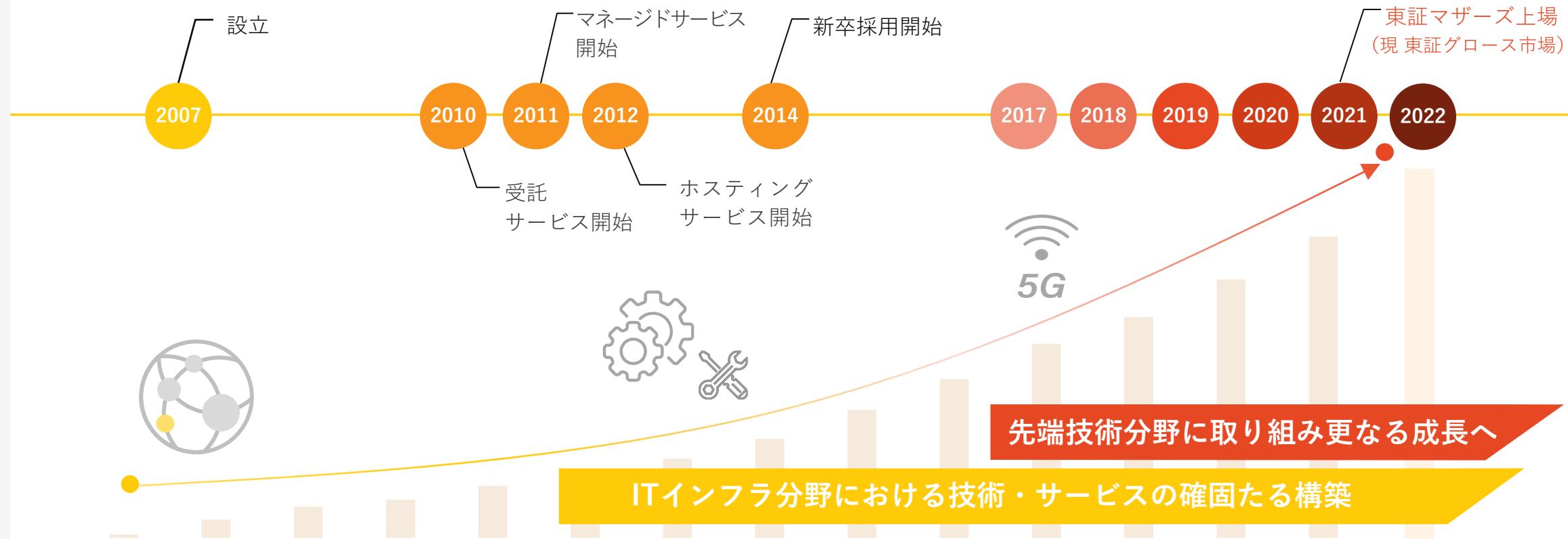
事業沿革

ネットワーク・インテグレーション事業を目的に創業

創業期より黒字

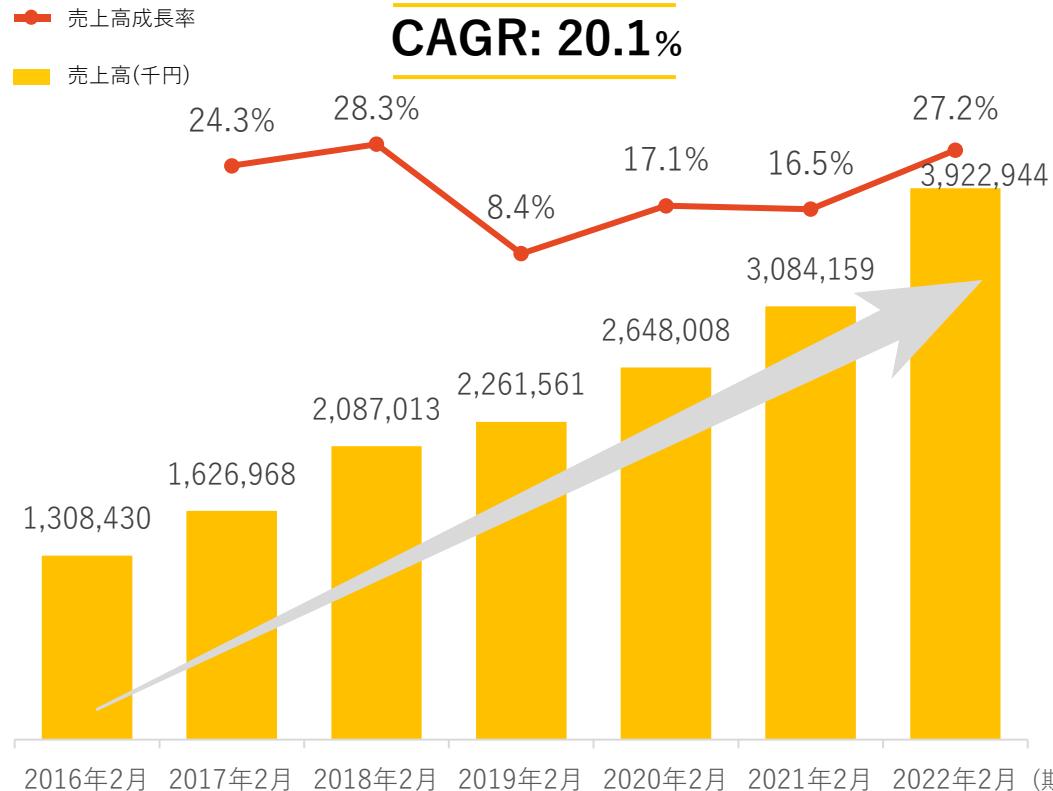
顧客ニーズにマッチしたサービスを展開

将来の市場を見据えた技術革新分野へ積極展開

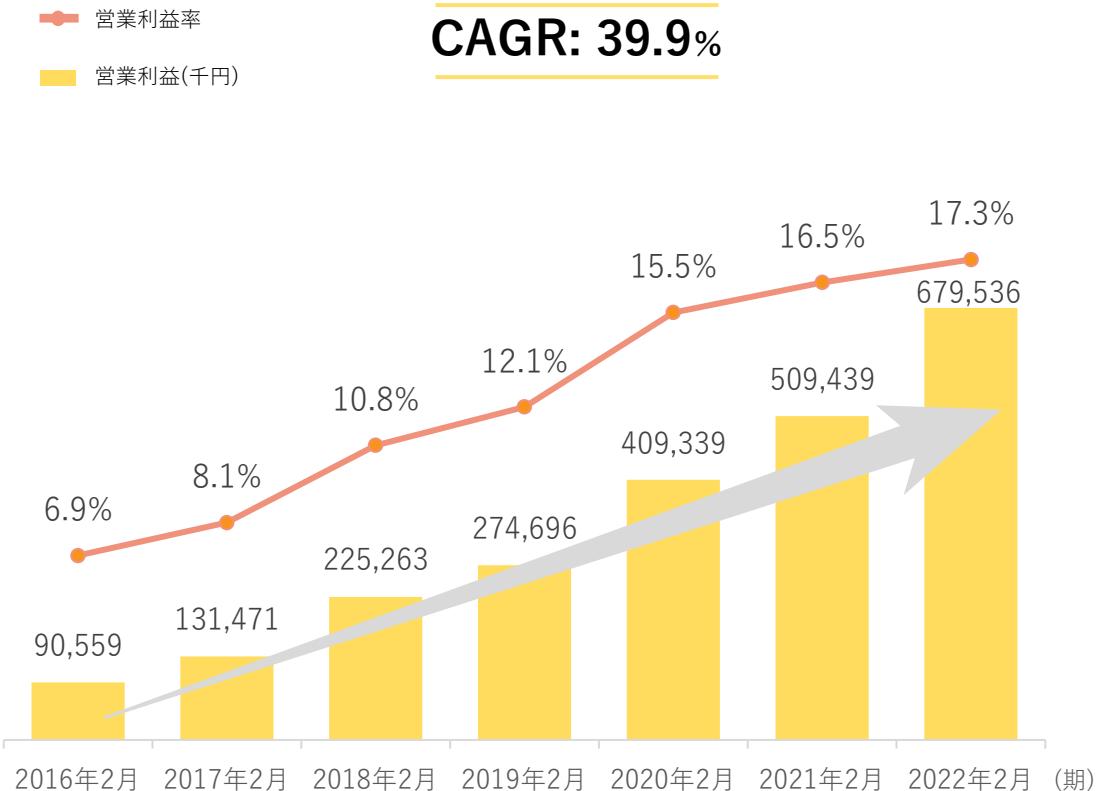


✓ 2013年2月期より10期連続で増収増益

売上高および売上高成長率推移

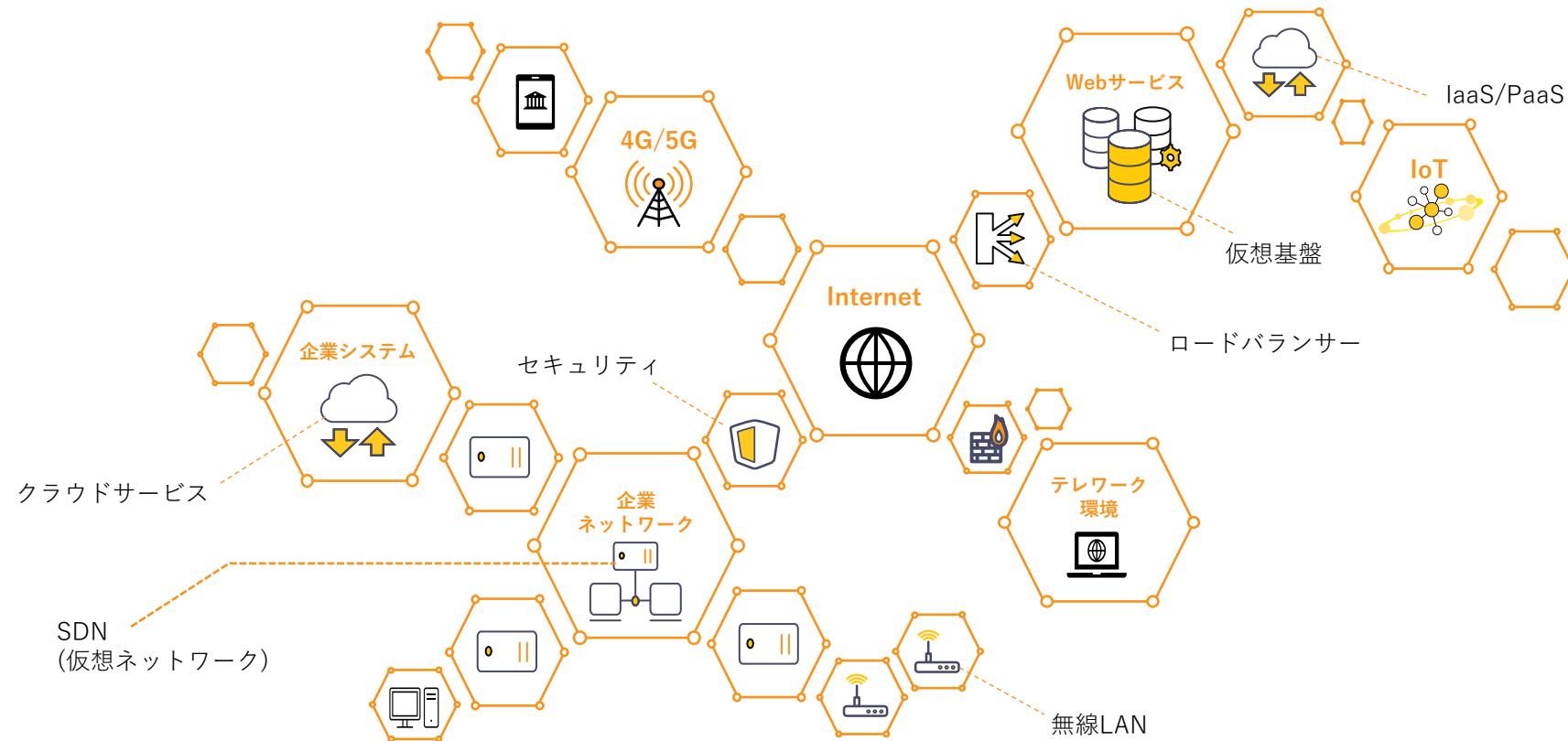


営業利益および営業利益率推移



事業概要/ITインフラストラクチャサービスとは

様々なアプリケーション・システムを利用するためには、システムを動作させるサーバー、システムに接続するためのネットワーク、安全な通信・情報を守るためにセキュリティなど複雑なITインフラストラクチャを設計・構築することや、運用・保守を請け負うこと。これらが構成されITインフラストラクチャは今や生活インフラの一部となっている。



※クラウドサービス(IaaS/PaaS):主にクラウドコンピューティングサービスを指す。

※SDN:ソフトウェアによって仮想的なネットワーク環境を作る技術。物理的な制約に縛られず、ネットワーク構成の柔軟な設定が可能。

※仮想基盤:1つの物理機器上で、複数のホスト・OSを動作させる仕組み。

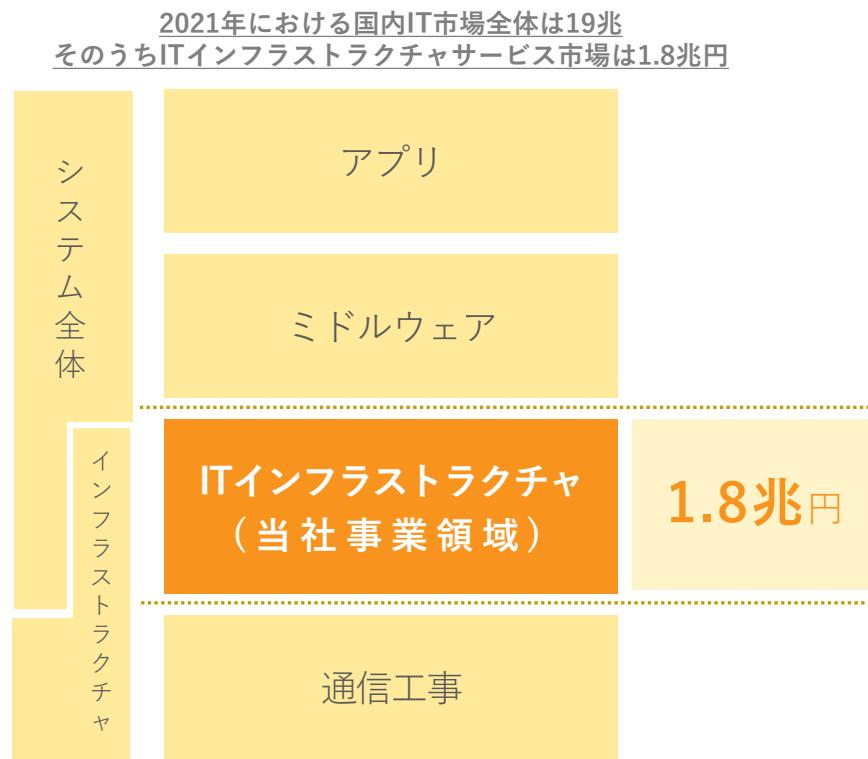
※ロードバランサー:サーバを複数台で構成した場合に、端末からの通信をリソース毎に適切に振り分ける仕組み。

※セキュリティ:ファイアーウォール、IPS/IDS、サンドボックス、Webフィルタリング、など。

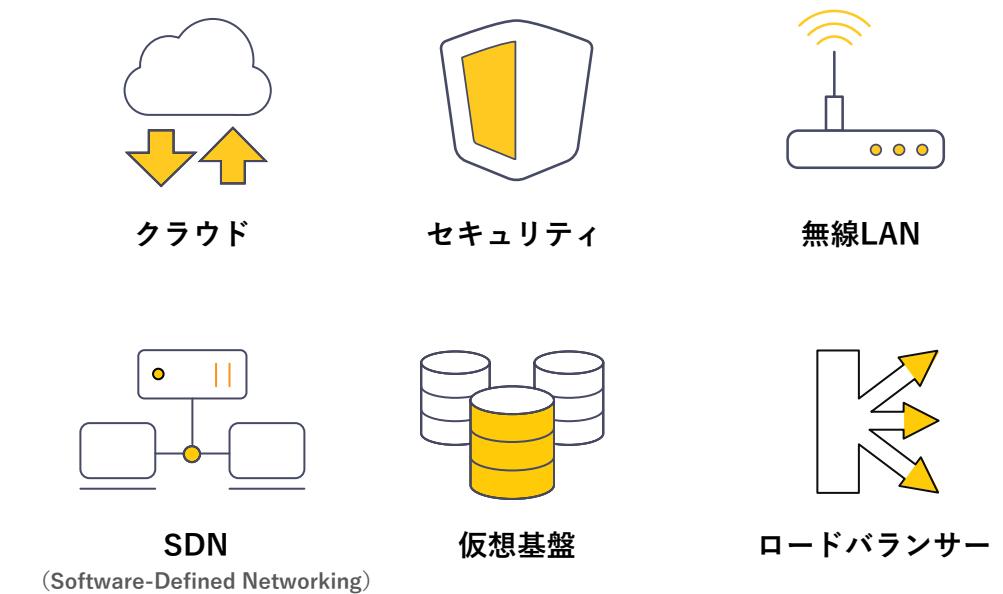
事業概要/事業領域

ITインフラストラクチャサービスに特化した専門事業者

ITインフラストラクチャサービス市場の位置づけ



ITインフラストラクチャ分野で成長が著しい技術領域



※出典：IDC Japanプレスリリース「新型コロナウイルス感染症／ロシア・ウクライナ戦争の2022年3月末時点での影響を考慮した国内IT市場予測を発表」（2022年5月18日）

※出典：IDC Japanプレスリリース「国内ITインフラストラクチャサービス市場予測を発表」（2022年6月13日）

事業概要/システム開発会社及びファシリティ工事業者との違い

当社はアプリやミドルウェア、通信工事は行わず、ITインフラ領域に専門特化



※アプリ(アプリケーション)：基幹業務システム（ERP）やWEBアプリ、スマートフォンアプリなどのユーザが操作する部分、グループウェア（Office365）、AI・機械学習、Java・C・Pythonなどのプログラミング言語を用いて開発を行う。

※ミドルウェア：アプリケーションとOSの間で動作するソフトウェア、Oracle Database/WebLogic・Apache HTTP Serverなど。

※通信工事：屋内のLAN配線や基地局設備の建設、機器設置等

2023年2月期 業績予想

2022年5月より連結決算を開始

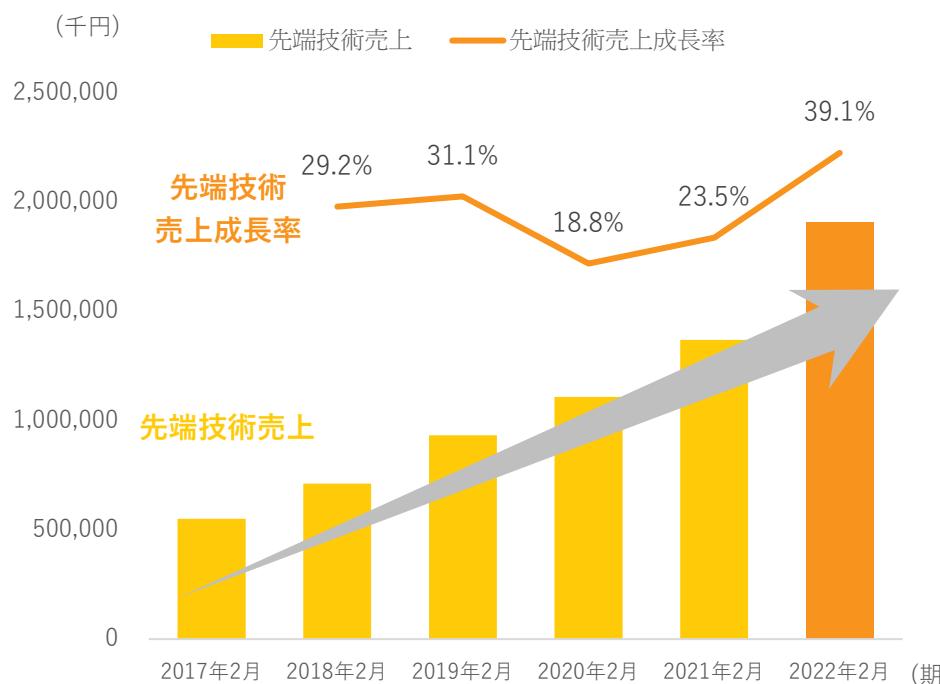
ハイレイヤーのITインフラストラクチャ技術を共有し事業規模拡大を図る

	2022年2月期 通期実績	2023年2月期 単体業績予想	2023年2月期 連結業績予想	前期比
売上高	3,922,944	4,680,000	5,100,000	130%
営業利益	679,536	855,000	875,000	129%
税引前純利益	737,078	910,000	935,000	127%
純利益	542,774	666,000	684,000	126%

成長戦略/先端技術分野への注力

従来型ITインフラのみならず、先端技術分野に重点を置き、積極受注を行う

先端技術サービスの売上推移



※先端技術分野：当社の中で専門性が高いと考える技術領域。ワイヤレス、ロードバランサー、SDN、クラウド、セキュリティ、サーバー仮想化のいずれかの技術領域に関わるもの。

高い成長性が期待される先端技術分野

市場規模予想	市場のCAGR	当社の ^{※6} 売上比率
ワイヤレス (グローバル市場) 1,306億米ドル (2026年)※1	15%	16%
ロードバランサー (グローバル市場) 89億米ドル (2027年)※2	13%	19%
ネットワーク 仮想化 (国内市場) 468億円 (2026年)※3	3%	10%
クラウド (国内市場) 3.8兆円 (2026年)※4	19%	27%
セキュリティ (国内市場) 5,033億円 (2025年)※5	6%	12%

※1 出典：BCC Research「世界のワイヤレス接続市場」（株式会社グローバルインフォメーション）

※2 出典：IMARC Services Private Limited「ロードバランサー（負荷分散装置）の世界市場：業界動向、シェア、規模、成長、機会、予測」（株式会社グローバルインフォメーション）

※3 出典：IDC Japanプレスリリース「国内ネットワーク仮想化／自動化市場およびNFV市場予測を発表」（2022年5月11日）

※4 出典：IDC Japanプレスリリース「国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表」（2022年3月31日）

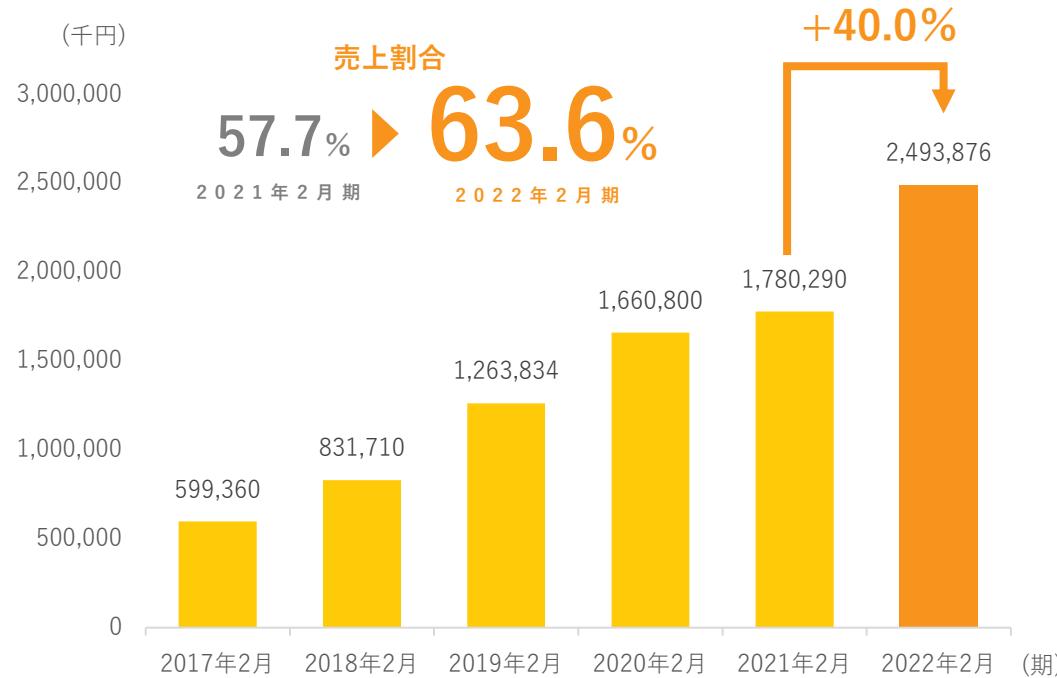
※5 出典：IDC Japanプレスリリース「2020年下半期 国内情報セキュリティ市場予測を発表」（2021年5月27日）

※6 「当社の売上比率」の増減は2021年2月期実績より比較、また、2つ以上の分野の重複売上も含む

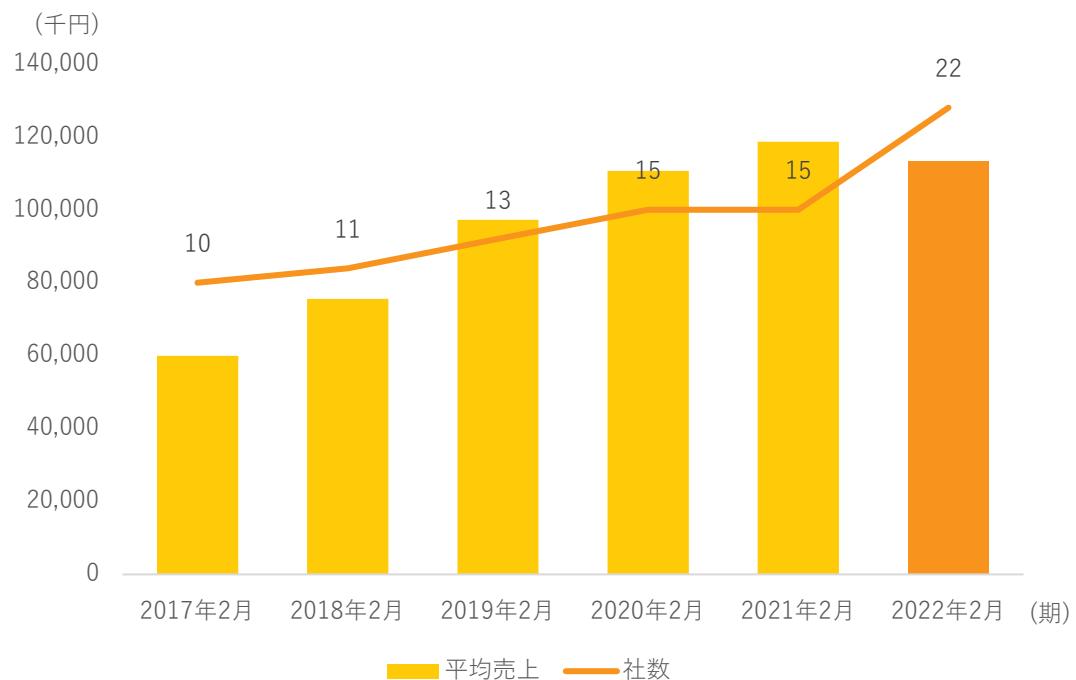
成長戦略/エンタープライズ顧客の拡大と深耕

実績を武器に大手事業者との取引を拡大させ、
案件規模の拡大とストックビジネスの積み上げを図る

エンタープライズ顧客合計売上



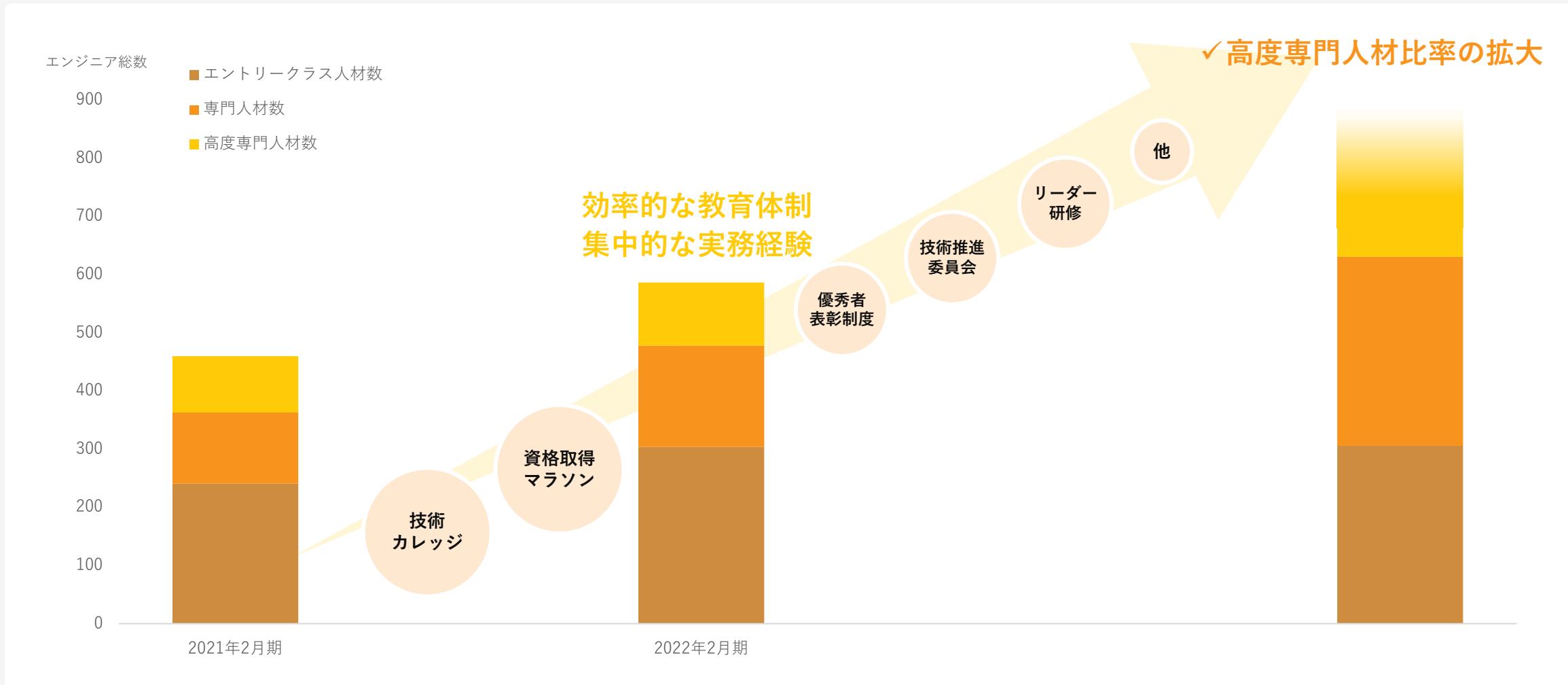
エンタープライズ顧客の1社あたり平均売上と社数



成長戦略/高度専門人材育成を通じた競争力強化

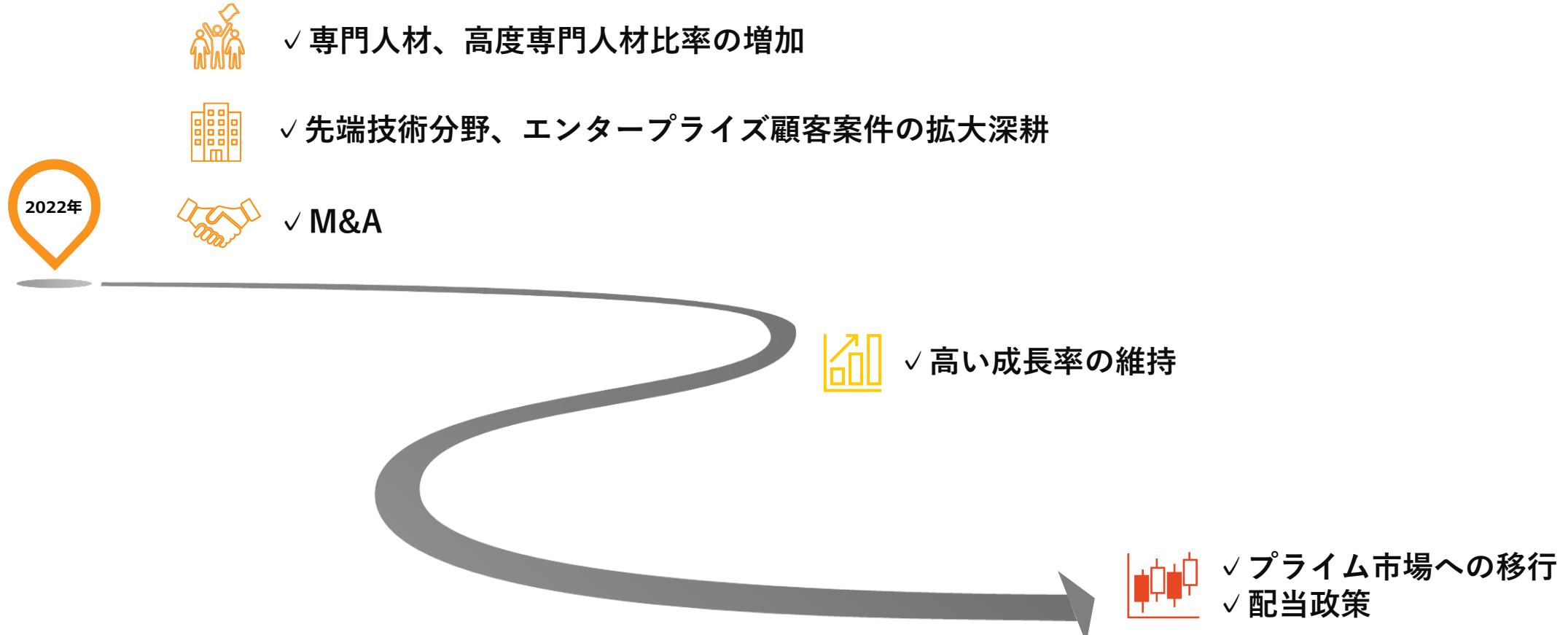
高度専門人材の育成カリキュラムを完備

多数在籍の成長余地の大きいエントリークラスの育成を継続し、競争力のあるサービスを一段と提供する



成長戦略のまとめ

プライム市場への移行に向けて事業拡大を図る



baudroie inc.